

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明	明
警察運営費	1,548,520 (1,610,509) 国 2,746 使 216,247 財 6,111 諸 50,107 ④ 1,273,309	1 犯罪被害者等への支援強化事業 身体犯罪被害者にかかる初診料、性感染症等検査費用、再診料、診断書経費等を公費負担するとともにカウンセリング等を行うほか、犯罪被害者に対する直接支援業務を行い、被害者やその家族等への支援を強化する。	6,675
装備費	647,773 (761,765) 国 222,854 緑 1,700 起 15,300 ④ 407,919	1 警ら用自動車等の更新整備 警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車（白黒パトカー）等の更新整備を行う。	48,823

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	1,136,146 (1,429,273)	図1 交番・駐在所の新築整備 70,500 地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい1施設を新築に向けて整備する。
	国 590 財 49,886 繙 49,311 起 774,700 ④ 261,659	図2 大津北警察署移転新築整備 265,718 老朽・狭隘が著しい大津北警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地の造成工事および建築工事を行う。 [債務負担行為] 期 間：令和9年度～令和10年度 限度額：2,588,059 内 容：大津北警察署の移転新築整備に伴う建築工事を行う。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明					
刑事警察費	1,186,684 (1,182,473)	① トクリュウ対策重点化事業 162,294					
	国 25,760	トクリュウ犯罪に対する抑止力強化を目的として、情報発信や広報啓発の推進と最新の各種資機材等を導入する。					
	使 37,710						
	繰 5,197	② 証拠品管理システム高度化改修事業 41,610					
	起 28,600	I C T (二次元バーコード) を活用した証拠品管理システムの高度化改修により、証拠品の適正管理を推進する。					
	⊖ 1,089,417	③ 安全・安心アプリ利用促進事業 5,957					
		防犯アプリに認知症高齢者の発見・保護や特殊詐欺被害防止に資する機能を拡充するとともに、県民の生活スタイルに応じた必要な安全情報を提供することで、県民の自発的な行動変容に繋げ、県民全体の犯罪抑止力を向上する。					
		<table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: none;">①追加機能作成委託</td> <td style="border: none; text-align: right;">1,733</td> <td rowspan="2" style="border: none; vertical-align: middle; text-align: center;">]</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">②アプリ保守業務委託</td> <td style="border: none; text-align: right;">4,224</td> </tr> </table>	①追加機能作成委託	1,733]	②アプリ保守業務委託	4,224
①追加機能作成委託	1,733]					
②アプリ保守業務委託	4,224						
		④ S N S で犯罪防ぐ情報発信事業 1,943					
		ソーシャルメディアの機能を積極的に活用し、県民を対象として「闇バイトなどの犯罪に加担しない」「県民が犯罪の被害に遭わない」ための情報発信を行う。					
		⑤ 特殊詐欺等被害防止対策調査研究事業 4,000					
		官学連携により専門的知見を活用し、特殊詐欺等の被害実態やそのメカニズムを解明して、E B P Mに基づく効果的な被害防止対策を推進する。					

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		<p>6 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 3,224</p> <p>事業者に対するセキュリティ診断および県内の中小企業向けのサイバーセキュリティセミナーを継続実施することにより、事業者のサイバーセキュリティ意識の向上を図る。</p>
		<p>⑦ 子どもたちを守るＩＴリテラシー向上促進事業 2,409</p> <p>県内の小中学校等において実施するサイバー防犯教室用の動画コンテンツを作成し、子どもたちがＳＮＳ上の犯罪やトラブルから身を守ることができるようＩＴリテラシーの向上を促進させる。</p>
		<p>8 地域見守りカメラ設置促進事業 2,310</p> <p>防犯カメラを無償貸し付けすることにより、防犯活動への補填効果および行政機関への設置促進の仕組みづくりを促すため、防犯カメラの購入を行う。</p>
交通指導取締費	2,049,106 (2,131,055)	<p>❸ お試し自主返納・運転ライフ見直し事業 3,553</p> <p>「お試し自主返納」の継続実施に加え、事業参加促進のためのテレビ放映や、運転を継続する高齢ドライバーに対する運転の自己診断が可能な分析タグの貸出により今後の運転のあり方を提案するなど、県民運動として社会全体で考える気運作りを進める。</p>
	国 322,200	
	使 143,609	
	諸 77,909	
	起 678,600	
	（-） 826,788	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
		2 交通安全施設整備費 1,409,809
		(1) 交通管制センターの整備（補助） 270,059 交通の安全と円滑化を推進するため、路上に設置の集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。
		(2) 交通信号機の整備（補助） 167,743 交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者用付加装置の設置等の信号機改良整備を行う。
		(3) ゾーン・通学路対策事業（補助） 183,288 生活道路における歩行者等の安全対策として、区域内の最高速度を30kmに規制する「ゾーン30」を実施するとともに、通学路や未就学児等が利用する道路においては、横断歩道等の整備を中心とした道路標識標示の整備を行う。
		(4) 円滑化対策事業（補助） 47,378 交通の円滑を図るため、信号機の新設および改良を行う。
		(5) 交通信号機の整備 138,082 信号機の移設や信号灯器の改良整備等を行う。
		(6) 道路標識・標示の整備 201,094 道路標識・道路標示の更新等を行う。
		(7) 道路新設に伴う交通安全施設整備 7,967 道路新設に伴い必要となる信号機等の新設を行う。